

平成 18 年度 歯科医師臨床研修における有歯補綴研修プログラム

・補綴咬合治療科(有歯補綴)基本習得コース

一般目標: 歯科医師と患者相互がわかりあえる治療目標を共有し, 安心と信頼の得られる治療を目指すために必要な補綴咬合治療に関する基本知識や技能を習得する.

ユニット

- (1) 医療面接
- (2) 医療安全・感染予防
- (3) 補綴咬合治療(口腔リハビリテーション)のための診察と検査
add 画像, CT, MR, T-Scan など
- (4) エビデンスの情報収集
- (5) インターディシプリナリーな治療計画
- (6) POSに基づいたカルテの記載
- (7) 半調節性咬合器の使い方
- (8) 支台築造
- (9) クラウンブリッジによる補綴処置
- (10) 顎機能異常への治療
- (11) プロビジョナルレストレーション
- (12) 義歯による欠損補綴処置
- (13) インプラントによる欠損補綴処置
- (14) 補管的術後治療・SPT

(1) 医療面接

(2) 医療安全・感染予防

(3) 補綴咬合治療(口腔リハビリテーション)のための診察と検査

(一般目標) 補綴咬合治療(口腔リハビリテーション)に必要な診察および検査について、基本的知識、技能および態度を身につける。

(行動目標)

全身的診察ができる(表情、体格、バイタルサイン、精神状態など)。

口腔外の局所的診察ができる(頭頸部領域の視診、触診、打診、聴診など)。

口腔内の局所的診察ができる(歯、歯周組織、咬合状態、顎堤の吸収度など)。

歯髄、歯周組織の検査ができる。

ブラックシリコンと画像処理(add 画像)を用いた咬合検査ができる。

研究用模型を用いた模型検査ができる。

適切な画像検査の選択と読影ができる(デンタル、パノラマ、CT、MRI など)。

ME(生体計測)機器を用いた機能検査ができる(T-Scan など)。

(4) エビデンスの情報収集

(一般目標) EBM(EBD)に基づいた治療を行うための基本技術を修得する。

(行動目標)

図書館のネットワークを利用して、情報検索できる。

情報の質、エビデンスの強さなど評価できる。

抽出した情報を患者に適用してよいかどうか判断できる。

(5) インターディシプリナリーな治療計画

(一般目標) 他の専門科と協力し、患者に最もよい医療を実践するための治療計画の立案法を修得する。

(行動目標)

医科(内科、心療内科、耳鼻科、眼科、皮膚科等)との併診の必要性について判断できる。

歯科の各科と協力して、初期治療計画を立てることができる。

(6) POS に基づいたカルテの記載

(一般目標) POS に基づいたカルテの記載法を修得する。

(行動目標)

POS について説明できる。

プロブレムリストを挙げることができる。

初期治療計画が立案できる。

POS に基づいた時系列のカルテの記載ができる。

(7) 半調節性咬合器の使い方

(一般目標) 半調節性咬合器の構造を理解し、その使用方法を修得する。

(行動目標)

フェイスボウトランスファーを行うことができる。

咬合器の顎路やインサイザルピンを目盛りを所定の値に固定することができる。

フェイスボウを咬合器にセットし、上顎模型を上弓に装着することができる。

下顎模型を下弓に装着することができる。

顎路角、切歯路角の調整ができる。

(8) 支台築造

(一般目標) 支台築造の臨床的意義を理解し、基本術式を修得する。

(行動目標)

支台歯の状態によって、適切な支台築造法を選択することができる。

適切なポスト孔、窩洞の形成および印象採得をすることができる。

支台築造の試適、調整および装着をすることができる。

(9) クラウンブリッジによる補綴処置

(一般目標) クラウンブリッジの臨床的意義を理解し、基本術式を修得する。

(行動目標)

機能的、生物学的、力学的、審美的および材料学的要件を考慮し、クラウンブリッジの設計をすることができる。

適切な支台歯の形成および印象採得をすることができる。

クラウンブリッジの試適、調整および装着をすることができる。

(10) 顎機能障害の治療

(一般目標) 顎機能障害の病態、検査、診断および治療について、基本的知識、技能および態度を身につける。

(行動目標)

顎機能障害の病態を説明できる(症状、疫学、病因など)。

顎機能障害の診察および検査ができる。

画像検査の読影ができる(CT、MRI など)。

顎機能障害の診断および分類ができる。

理学療法が行える(マイオモニタ、超音波治療器など)。

スプリント療法が行える。

各種スプリントが製作できる(スタビリゼーション、リポジショニング)。

必要に応じて咬合治療、修復治療が行える。

外科療法の適否を診断できる。

(11) プロビジョナルレストレーション

(一般目標) プロビジョナルレストレーションによる最終補綴装置の設計の方法を修得する。

(行動目標)

機能性、審美性、清掃性を考慮し、プロビジョナルレストレーションの製作ができる。

治療過程におけるプロビジョナルレストレーションの形態修正およびその評価ができる。

プロビジョナルレストレーションから得られた情報を最終補綴装置に再現することができる。

(12) 義歯による欠損補綴処置

(一般目標) 義歯による欠損補綴処置を行うための基本技術を修得する。

(行動目標)

義歯の設計ができ、患者さんに説明できる。

印象採得ができる。

咬合採得ができる。

義歯の調整ができる。

義歯の修理ができる。

(13) インプラントによる欠損補綴処置

(一般目標) インプラントによる欠損補綴処置の治療計画および治療の選択方法について説明ができる。

(行動目標)

インプラントの補綴学的意義が説明できる。

インプラントの適応症と禁忌症が説明できる。

インプラント治療の一連の流れが説明できる。

長期的な術後管理指導の必要性を説明できる。

(14) 補管的術後治療・SPT

(一般目標) 術後の指導、管理、トラブル時の対応が説明できる。

(行動目標)

補綴装置装着後の経過観察、チェックができる。

問題発生時にその原因を把握し、説明ができる。

問題発生時に補綴学的対応ができる。